

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	32	利用者の中で、隠れていた病気が悪化し、末期を支援することがあった。医療との連携を図っているが、入院体制が難しい状況もあり、重度化や看取りに対するケアの力は持っていたい。また、医療面に関わる安心感を家族に与えたい。	コロナ禍の中で実施が難しかった状況があるが、リモート研修等を取り入れ、重度化や看取りに対するケアの研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りの研修(医師や看護師よりの医療講話) ・寝たきりや重度化に対する精神面のフォローや接遇。 ・移乗、移動、チェアー浴、清拭等の内部技術演習。 ・食事・栄養摂取の工夫。 	12ヶ月
2	34	年1回は同町内会と合同の避難訓練を実施している。また、家族等の参加希望も受けている。協同における避難体制を確実にしたい。	避難したか一目でわかる目印を各居室に設置し、確実な態勢を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難の有無の目印を居室ドアに設置を検討。 ・家族参加の検討。 	3ヶ月
3	3	地域の方々へ、認知症の人の理解を一緒に深めて頂くため、講座や話し合いの場を設ける予定であったが、開催されなかった。また、グループホームの特性(認知症対応型共同生活介護)がまだ理解されていない状況がある。	グループホームが持つ機能や技術を地域へ発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの役割が見えるパンフレット作成。 ・新しい生活様式を試み、講話や相談等を行ってみる。 	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。